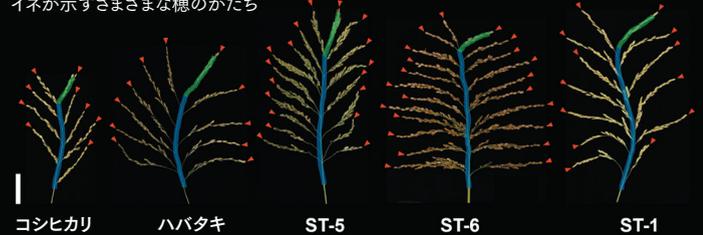




イネのかたちと 収量をつかさどる 遺伝子の秘密

イネは世界的な主要作物であり、私たちの暮らしに欠かすことができません。穀粒を利用する作物において、穂のかたちは収量に直結する重要な形質です。私たちは、イネとその野生種が示す穂形態の多様性を利用して、さまざまなかたちが生み出される仕組みを理解し、制御することを目指しています。イネのかたちを決める遺伝的機構を理解し、それを作物育種に応用する試みについてお話します。

イネが示すさまざまな穂のかたち



〈ゲスト〉

あがた あゆみ
縣 歩美氏

名古屋大学 大学院生命農学研究科
植物生産科学専攻 植物遺伝育種学研究室 助教

1993年愛知県生まれ。名古屋大学大学院生命農学研究科博士後期課程修了。博士(農学)。国立遺伝学研究所博士研究員を経て、2022年12月より現職。専門は植物遺伝育種学。

2024.
12.20 19:00-20:00 (ゲストトーク)
20:00-20:15 (Q&A)

参加費
無料

〔対象〕 どなたでも(学生の方も歓迎)

〔セミナー申込〕 Zoomウェビナーにてお申し込み

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_IJzPwQ84QGSv0DG8RJ6IZQ

〔視聴方法〕 Zoomウェビナーにて開催

お申込みされた方にウェビナー視聴URLがメールで届きます。PC、スマートフォンよりアクセスしてご視聴ください。

〔問合せ〕 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 outreach@t.mail.nagoya-u.ac.jp

